

## 地域住民の意向を再確認しました 大井川的环境を守る緊急大会が開催されました

今年12月末、30年ぶりに水利権の更新を迎える東京電力田代第二発電所、田代ダムの放流量について話し合う「大井川水利流量調整協議会」の第8回会合を前に10月22日（土）、山村開発センター大会議室において大井川流域の住民など約130人が参加し、大井川的环境を守る緊急大会が開催されました。この緊急大会は「大井川を再生する会」「大井川の清流を守る会」「大井川水環境健全化議員協議会」が合同で開催したものです。

大会では、元建設省（現国土交通省）河川局長の尾田榮章氏が「川に水が流れていることの大切さ」を演題に基調講演を行いました。続いて、尾田氏、大井川を再生する会副会長の山田部氏（梅高）、日本山岳会静岡県支部副支部長の児平隆一氏をパネリスト、川根町助役の北島享氏をコーディネーターに意見を交換しました。



大井川に対する思いが語られました

多くの方が参加した健康ウォーク



## 健康について楽しく学びました 川根本町健康まつりを開催しました

10月23日（日）、南小学校体育館とその周辺において川根本町健康まつりが開催され、町内より約600人が参加し、健康ウォークや体育館で行われたイベントをとおり、健康について理解を深めました。

恒例となった健康ウォークには約200人が参加し、約4kmのコースを約1時間半かけて歩きました。ウォークでは途中、ジャンケンゲームやパン食い競走など子どもからお年寄りまでが参加し、楽しめるレクリエーションも行われました。

## すばらしい紅葉が見られますように 寸又峡もみじ祭りを開催

10月29日（土）、本格的な紅葉シーズンを前に、今年の紅葉が素晴らしいものになるよう祈願し、同温泉の温泉を振る舞い参加者の無病息災を祈願する、寸又峡もみじ祭りが、寸又峡温泉において開催され、天狗山伏行列や赤石太鼓の演奏が行われました。

祭りで行われた天狗山伏行列では、同温泉にある如意輪観音堂より、天狗と山伏にふんじた人を先頭に観光客や地元の住民約100人が、笛や太鼓の演奏にあわせ温泉街を練り歩きました。この行列で山伏は、たるに入れた温泉を持ち、笹の葉を使って沿道の人たちに掛けて回りました。



天狗を先頭にたいまつで道を照らしながら温泉街を練り歩きました